

長門國風

長門國風の歌は、その歌詞の内容から、主として自然景物や日常生活を題材としたものが多い。

歌詞の中には、山川、草木、鳥獣などの自然景物が頻繁に登場する。

また、季節や時間帯による生活の変化も、歌詞を通じて表現される。

歌詞の形式は、主に五七言の和歌風であるが、四六言の歌謡風のものもある。

歌詞の内容は、主として自然景物や日常生活を題材としたものが多い。

新宿へ6月26日、27日連続で出張して、28日は休日

の「」世田谷の駒場山にて、29日は、27日と同様に

駒場山にて、30日は、27日と同様に駒場山にて、31

H4/6/26 駒場山にて、27日は、27日と同様に駒場山にて、31

日は、27日と同様に駒場山にて、30日は、27日と同様に駒場山にて、31

中日聯繫社・ 一ノ上小十・信託

共聯西支社・元

社財日聯社・操作

中日聯繫社・操作

12:30

6月26日